

紛争管理論 2019/12/06 授業レポート

[調停ロールプレイ]

1. 初めて他班の作ったロールプレイをしたが、すごく完成度が高いと思った。作成した班には、なぜその事案にしたかや、作成過程についても話を聞いてみたい。
2. (調停人役として) 適切に論点をまとめて伝えるのが素直に難しく感じた。
3. 1つの議題がおわって「他にありますか?」と他の議題を聞いていたけど、最初に「何を話し合いたいのか」聞いておけば皆分かりやすくなるかなと思いました。  
→ 早めに課題(議題)を洗い出しておけば確かに効率的ですね。が、最初の段階では言えない話題もありえるので、途中でも「他にありますか?」と聞くのは大事だと思います。
4. 家事調停は他の調停に比べてよりプライベートなものになるので、役になりきることが大切だと思います。  
→ そこは重要ですね。
5. かなり感情を全面に出さざるをえないシナリオだったので難しく感じた。
6. 論点も多く、調停人も上手だったので見ごたえがありました。
7. 論点が多いと何から話していいかわからなくなるので、調停人が紙に書いて可視化することで論点整理がしやすかったと思います。
8. 面会を水曜日に変更させるような問題製作者の意図を感じたのですが、「学校で面会できないのでは」という点が問題になる所まで想定していたとしたら流石だなと感じました。
9. 決めることが多いのは分かっているけれど、それが明確に何と分かっている分野だったので話し合いが終わったあとで気付くことが多かった。  
→ こうした分野では、当事者教育(親教育)が大事だとも言われ、実際に取り組みもあります。
10. 太郎でした。息子への愛は誰よりも強いので、是非息子が描いてくれた僕の似顔絵を寝室に飾りたいです。
11. 観察人として調停を見てみると、個性がすごく出ているというのが率直な感想です。基本的ルールは大事だけどそれだけではダメだなと思いました。  
→ 個性を上手くいかして調停できると良いですね。
12. とても初歩的なことだが、調停人役の最初のあいさつがいつも何だっけとなってしまうので他の人を参考にしたい。
13. 当事者2人が直接に会話している場面が多かったが、問題ないと判断して、特に話の方向性を定めるに干渉をとどめた。
14. すべての事情を知った上で調停を見守る観察者というポジションは、とても面白いですが、もどかしさもあって複雑です。
15. 初めて調停人に挑戦したが、思ったよりもかなり難しかったです。
16. 子どもを育てるのに年間どのくらいの額がかかるのかわからなかったなので、生活費や幼稚園代も具体的に記述があったらもっとよい調停になったと思った。  
→ 生活をイメージするのが少し難しかったかもしれないですね。生活費や教育費は個人差が大きいのが実態です。私の個人的な経験では子どもが小さいときは経済的負担以上に、世話に時間がかかり、体力を削られる負担感が強かったです。
17. (シナリオ作成者から)自分で作ったロールプレイシナリオを他の学生が実際にやっているのを見るのは緊張したが、思った通り進んだところ、予想外だったところ両方あり興味深かった。